

Rotary



大分南ロータリークラブ

国報

Jan 14, 2022
Vol. 45 No.20



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日：毎週金曜日 12:30~13:30
例会場：大分市府内町トキハ会館4F
友好クラブ：RI第3490地区 基隆東南扶輪社 提唱インターアクトクラブ：福徳学院高等学校
姉妹クラブ：RI第3860地区 セブポートセンターロータリークラブ

TEL 097-532-0611 URL : <http://www.oita-minami-rc.jp>
FAX 097-532-8386 E-mail : oitaminamirc@mist.ocn.ne.jp

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ
RI会長 シェカール・メータ

RI第2720地区スローガン
ガバナー 大森克磨

大分南ロータリークラブスローガン
会長 三宮康司
幹事 古本太

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ロータリーのパワーは親睦が生み出す! あらゆる場面を親睦の機会に ～話しかけよう～

仲間と共に、親睦を深め、 笑顔と信念を持って邁進しよう!

本日のプログラム

開会宣言 (点鐘)	12:30
ロータリーソング	「それでこそロータリー」
入会式	
会長の時間	会 長
出席報告	出席委員長
幹事報告	幹 事
ロータリー情報、IT 広報	担当委員長
委員会報告	
ニコボックス	親睦委員長
今週のお祝い	
会員誕生	秦野 真郎 会員 1月23日
	赤嶺 昭 会員 1月26日
閉会の辞 (点鐘)	13:30

***** 本日の例会 *****

第2013回 2022年1月14日(金) 12:30

新春リレートーク ※理事会 11:30

***** 今後のプログラム *****

第2014回 2022年1月28日(金) 18:30

夜の例会

第2015回 2022年2月 4日(金) 12:30

クラブ協議会 「地区補助金プロジェクトについて」

出席報告 2022年1月6日(木)

会員数	出席者数	出席率
30名	26名	78.67%

ゲスト 1名

バナーの由来。山は、たたなわる霊山の山並み、静謐な環境の学園の杜。川は、清澄大分川、生新発刺たるベッドタウンの未来図。藤は、聖域西寒多神社の藤棚で、室町時代より御神酒をつくって奉納していた、由緒ある契りのシンボルです。

新春合同例会挨拶

大分南RC 三宮 康司 会長

大分第4グループのロータリアンの皆様、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、ロータリーの活動にも大きな制約を受けることとなりました。その影響で新春合同例会が開催されませんでした。本年は、デルタ株は終息しつつある段階ですが、その後オミクロン株での第6波が徐々にその勢いを増す中、異例ではありますが ZOOM 併用での新春合同例会を開催する事が出来たことは、皆様のご理解・ご協力があったからこそだと思っております。

新しい年を迎えましたが、新型コロナの終息が見えない中、経済活動にも大きな打撃となり 社会生活に影響が及んでいます。地域社会における新たな課題が次々と浮かんでくることを心配していますが、ワクチン接種が進み、わずかながら明るい兆しもあります。2022年度は、壬寅（みずのえとら）です。「壬寅」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新たな成長の礎となるという年であります。ロータリアン皆さんで、是非、新たな芽吹きと成長をしっかり感じられる年にしましょう。

この新しい年がよき年となりますよう祈念して、年頭の会長挨拶とさせていただきます。皆さん、本年もよろしくお祈りします。

国際ロータリー第2720地区

ガバナー 大森 克磨（大分キャピタルRC）

大分第4グループのロータリアンの皆様、明けましておめでとうございます。

昨年も一昨年に続き、第5波をはじめとする新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された1年間でしたが、今は少し落ち着いた感があります。

ガバナー就任の折は、大分第4グループの皆様から活動資金の援助を頂き、誠にありがとうございます。大切に使用させていただきます。

さて、昨年8月から12月にかけて、ガバナーの任務の一つである地区内の各クラブの公式訪問をさせて頂きました。

1番目の感想は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、どちらのクラブも奉仕活動が出来ない欲求不満や、親睦活動が出来ないために親睦に不安感を抱いているなどというものでした。

しかし、一部のクラブはオンラインを全面的に若

しくは一部導入に成功し、環境に対応した親睦活動を行ってまいりました。

2番目の感想は、会員の人数や歴史の長さにかかわらず、会員の皆様は例外なく自らのクラブを愛し、自らのクラブの活動に誇りを持たれておりました。

これらの感想につきましては、実際に皆様にお会いしないと体感できないものであり、なにゆえにガバナーがクラブを訪問するのかわ、身をもって知ることが出来ました。

なお、クラブ訪問の際には、皆様方には大変お世話になりました。

バナーやお土産を頂いたクラブもありますし、後に写真をお送り頂いたクラブもありました。心より御礼申し上げます。

2022年がどのような年になるかは分かりませんが、適応力を高めることも、ロータリーの行動目標ですので、環境に応じた奉仕活動、親睦活動を目指して頂きたいと思っております。

私と致しましても、残りの6ヶ月間に全力を投入する所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2720地区

次年度ガバナー補佐 藤田 千克由（大分中央RC）

いつもお世話になっております。

2022年-2023年堀川ガバナーエレクトのもと、第4グループのガバナー補佐を務めさせていただく大分中央ロータリークラブの藤田千克由と申します。ロータリー歴は11年で職業分類はタクシー業です。また日頃より大分中央ロータリークラブに対しまして、ご支援をいただきまして、ありがとうございます。

この度、ガバナー補佐を受けるにあたり、私自身は地区への関わりが非常に薄く、岡村パストガバナーの地区幹事を務めさせていただいて以来の地区への関わりとなりますので、第4グループの皆様方には何かとご迷惑をお掛けすると思っておりますがよろしくお願いいたします。

さて堀川ガバナーエレクトの方針について、これまでと違うのは該当年度以前に「グループ別会長エレクト懇談会」の実施です。これを行うことにより、より早い段階で各クラブの状況を把握できる点と何よりもクラブの特徴と会長エレクトを知ると言う事が重要なポイントになって参ります。本懇談会開催につきましては第4グループは2022年2月末までに開催したいと考えてますので日程調整のご協力

をお願いします。また第4グループのガバナー公式訪問例会につきましては2023年2月で決定しましたのでよろしくをお願いします。

当然の事ながら、これまでのIMやクラブ訪問等につきましても進めて参りますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

2022-2023年度 会長 青柳 義信(大分中央RC)

この度、来年度の大分第4グループの当番クラブを仰せつかりました大分中央ロータリークラブ、次年度会長の青柳義信と申します。ロータリー歴は14年で職業分類は通信業です。

ご承知の通り、新型コロナウイルスによるパンデミックが発生し、昨年も混乱の中に過ごした方も多いと思います。また、皆様の所属クラブ運営におかれましても、何かとスムーズにはいかず、大変な1年であったとも思います。

そんな中、本年度の当番クラブであります大分南ロータリークラブの三宮会長をはじめ、会員の皆様におかれましては、当番クラブの行事を企画運営することに大変なご苦勞をおかけしたこととご察し申し上げます、また感謝申し上げます。あと残り半期につきましても宜しく願い申し上げます。

さて、ご紹介いただきました来年度の当番クラブの担当をさせて頂くにあたり、皆様に何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、精いっぱい努力させて頂く所存でございますので、何卒、皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念して、そして、皆さまの健康を祈願して新年のご挨拶とさせていただきます。

新春記念講演会



『チャレンジと応援の連鎖がまちを変える』
～油津商店街・那珂川市でいま起きていること～

木藤 亮太 氏

【プロフィール】

1975年福岡出身。宮崎県日南市が実施した全国公募で選ばれ、2013年7月よりテナントミックスサポートマネージャーに着任。“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。商店街再生の好事例として国や各地から大きな評価を得ている。その後は自らが育った福岡県那珂川市に拠点を移し「事業間連携専門官」に着任(2017年4月より)。株式会社ホーホウを設立(2018年1月より)しJR博多南駅前ビル「ナカイチ」を地域コミュニティを育む場として再生、2020年3月には全国誌「ソトコト」の表紙を飾った。2019年8月には39年の幕を閉じた老舗喫茶店を承継するプロジェクトを立ち上げ、株式会社バトンタッチ(2019年7月より)を設立。那珂川市に「喫茶キャプテン」を継承し、話題となっている。

【講演内容】

宮崎県日南市油津商店街の再生事業(2013年～)、福岡県那珂川市の取り組み(2017年～)の話題を中心に、地方創生、まちづくり、活性化に関連するお話をします。私の体験に基づいて、それぞれのプロジェクトのなかで、どうやって価値観を理解し、変え、伸ばすことにチャレンジしていったのか、仕事に対するスタンス、そのために若い人材がいまなにをすべきなのか、について考える機会になればと思います。

【概要】

2013年に始まった油津商店街再生のテーマは「自走できる商店街づくり」。商店街が持続的に歩んでいける状況をつくること。「店舗誘致」というKPIはもちろん、その土台をしっかりとつくりあげてことを重視。

そんな中、多くの市民の記憶に残る喫茶店に着目。自らが事業者となり、カフェ「ABURATSUCOFFEE」としてリノベーション。多世代で賑わう、集いの場となった。こういった動きは市民の共感を集め、商店街再生が本格的に動き出すきっかけとなった。呉服屋さんを改修した豆腐屋、空き地にコンテナのお店を6棟並べた「アブラツガーデン」、スーパーマーケット跡の建物を改修した「屋台村(あぶらつ食堂)や交流スペース(油津 Yotten)」がオープン。出店はほとんどが30代の地元出身者、若い世代の商業者が、商店街に加わっていく。

こういった動きと並行して、市民有志が集まり、商店街の自走のための民間法人「株式会社油津応援団」を結成。「行政からの支援に頼り続けず、民間の発想にシフトしていくこと」を重視した会社の設立は、行政事業が終わった後も、民間として収益を生み、持続的に商店街をマネジメントしていく体制へと進化。

このようなまちの変化が市民の意識を変え、様々な活動につながっていく。寂れたまち並みをオシャレに見せようと撮影された写真集「CAPPE」。商店街をPRする小学生アイドルグループが誕生。高校生がアートイベントをしかけ、大学生がゲストハウスを経営するなど、若者のチャレンジが、市民の意識に様々な反応を生み続けていることが、この事業の最大の価値となっている。

その後、日南市が行ってきた雇用創出事業の動きが本格化。東京に本社を持つIT企業のサテライトオフィスが商店街の空き店舗を活用し誕生。現在までに13社となり、120名を超える雇用を生み、若い世代が働く場が商店街に生まれた。彼らがランチタイムに食事をしたりパンを買いに行ったりする姿から、これまで20~30年間右肩下がりだったこのまちに、消費人口が増えつつあることを実感。

油津での約4年間の事業を通して見えてきたもの、それは「昔良かったころ」に戻るのではなく、今を起点として、新しく求められるまちをつくっていくこと。油津商店街は、人口が減り少子高齢化が進み地方都市の中で、若者が先頭を切ってチャレンジする場として生まれ変わった。事業が開始して8年たった今、どのような状況にあるのか、また油津から地元福岡県那珂川市に戻りどんな取り組みをしているのか、最新の動きについてお伝えしたい。



**次年度 ガバナー補佐・会長・幹事 紹介
(2022～23年度)**

クラブ名	大分第1グループ ガバナー補佐
大分中央	ふじた ちかよし 藤田 千克由

クラブ名	会長	幹事
大分	すぎはら まさはる 杉原 正晴	やまもと しゅんじ 山本 舜治
大分東	すが まさゆき 菅 雅幸	あんどう のぶひろ 安藤 のぶひろ
大分臨海	みなみ のりゆき 南 徳行	よこやま しげお 横山 茂男
大分南	こもと ふとし 古本 太	みまた まさゆき 三股 正幸
大分中央	あおやぎ よしのぶ 青柳 義信	なかむら てつや 中村 哲弥
大分1985	たかはし みちなり 高橋 道成	かどわき けいじ 門脇 啓二
大分城西	むらかみ としたか 村上 智貴	いとう ひでみ 伊藤 秀海
大分キャピタル	もりなが りゅうじ 森永 隆二	てら おむつはる 寺尾 睦治
2720JapanO.K.REC	なかがわ ほうせい 中川 宝星	うえやま ともよ 植山 朋代

年 男

本年の年男の方々です。恒例により、ニコボックス1口づつお願いいたします。

- ・野中^{のなか} 俊秀^{としひで} 会員
- ・小野^{おの} 忠由^{ただよし} 会員
- ・倉園^{くらその} 晴義^{はるよし} 会員
- ・矢野^{やの} 貴広^{たかひろ} 会員

幹事報告 <1月6日>

1.2021 - 22年度 IM開催について
2022年3月26日(土)の開催予定で準備を進めております。
コロナ感染拡大の状況下、開催についての詳細につきましては目下検討中でもございますので、ご案内につきましては暫くお待ちいただけたらと思っておりますが、皆様のスケジュールの把握のみお願いいたします。